

JCPM 第二回シンポジウム
自主臨床試験の現状と課題
－実施体制の整備をめぐる－

JCPMの活動報告

高橋希人

Japanese Center of Pharmaceutical
Medicine 副理事長

2009年11月14日

京都大学医学部G棟2階 セミナー室A

Japanese Center of Pharmaceutical Medicine (JCPM)とは？

特定非営利活動法人 (Non-Profit Organization)

— 2006/12/7に特定非営利活動法人 (NPO)としての認可取得

— 理事長: 井村裕夫

京都大学名誉教授

独立行政法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 首席フェロー

目的

統合的で体系的なPharmaceutical medicineの教育を提供し、
日本の臨床研究および医薬品開発の質的な向上に貢献する

対象

- 医療機関で治験を含む臨床試験に従事する人
- 医薬品開発業務のグローバルな専門家を目指す人

JCPMのこれまでの活動

2007/11/1 JCPM Website (<http://jcpm.or.jp/>) オープン

2008/1/19 第1回JCPMシンポジウム(慶應義塾大学)開催

日本の臨床研究・治験の今後を考える
—Pharmaceutical medicine教育と臨床研究者の育成のために—

2008/2/26 第7.5回北里・ハーバードシンポジウム

「NPO法人からの期待・要望」 講演 高橋希人

2008/7/23 臨時総会

京都大学MCR (Master of Clinical Research)コースとの連携を検討

2008-現在

北里大学薬学部 臨床医学(医薬開発学・臨床統計学)による、
e-learning教育プログラム(生物統計、規制要件、データマネジメント、
臨床試験デザイン)開発

JCPM第1回シンポジウムでの議論

臨床研究の教育は、既に多くの大学、学会、団体等で着手されているものの、人材育成・教育に関する情報共有・交流が不十分



関係各方面で連携・協力し、臨床研究教育のあり方を総合的に討論して包括的・体系的な人材育成の推進を図ることが必要

e-learning講義画面イメージ(開発中)



HOME



特定非営利活動法人(NPO)
Japanese Center of Pharmaceutical Medicine

+ eラーニング科目
[→臨床研究のための統計学入門 一覧](#)

1.2章 確率

2.事象に関する法則 1/2

3.事象に関する法則 2/2

4.確率に関する法則 1/6

5.確率に関する法則 2/6

6.確率に関する法則 3/6

7.確率に関する法則 4/6

8.確率に関する法則 5/6

9.確率に関する法則 6/6

10.相対リスクとオッズ比

11.相対リスク

12.オッズ 1/2

13.オッズ 2/2

14.オッズ比



2章 確率

- 事象に関する法則
- 確率に関する法則
- 相対リスクとオッズ比


参考文献：


Marcello Pagano, Kimberlee Gauvreau 著, 竹内 正弘 監訳
(2003). 『Principle of Biostatistics (2nd edition)
ハーバード大学講義テキスト 生物統計学 入門』, 丸善株式会
社. 6章 確率, 81-109.

1



e-learningチェックテスト画面イメージ(開発中)





特定非営利活動法人(NPO)
Japanese Center of Pharmaceutical Medicine

+ eラーニング科目
[→臨床研究のための統計学入門 一覧](#)

臨床研究のための統計学入門 問題 1

1章 データの表示・数字による要約尺度 (参考文献 2-4章)

【問1】(1章: 参考文献2章)
以下の記述のうち正しいものをすべて選択せよ。

- a) 名目データとは, 1:男性, 2:女性のように属性を表したもの。
- b) 順位データとは, 1:軽度, 2:中等度, 3:重度のように自然な順序があるもの。
- c) 離散データとは, 観察されたデータを降順に並び, その中で各観察値の位置に従って数字を割り当てたもの。
- d) 連続データとは, 血清コレステロール値のように値の大きさ, および2つのデータ間の距離に意味のあるもの。
- e) いずれも正しくない。


【問2】(1章: 参考文献2章)
以下の記述のうち正しいものをすべて選択せよ。


- a) ヒストグラムは, 主に順序データの頻度分布を表すために用いられる。
- b) ヒストグラムの階級の幅は, 目的に応じて選択する。
- c) ヒストグラムの各階級の頻度は, ヒストグラムの棒の高さではなく, 棒の面積により示される。
- d) いずれも正しくない。

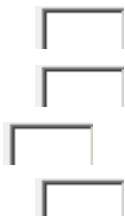
(1) 位置 (a)の説明として正しいものをすべて選択せよ。
a) 最小値, b) 25%点, c) 中央値, d) 平均値, e) いずれも正しくない


(2) データ数を2で割った値をAとする。このとき, 位置 (a)の説明として正しいものをすべて選択せよ。
a) データ数が奇数の場合, 昇順に(A+1)番目のデータが位置 (b)の値である。

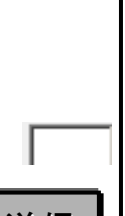
解答欄











送信

Copyright(c) 特定非営利活動法人(NPO)Japanese Center of Pharmaceutical Medicine

当サイト内のすべての文章および画像の無断掲載を禁止します。

本日のJCPM第2回シンポジウムの目的

国際水準に伍す質の高い臨床研究を行うために・・・



医師による自主臨床研究の現状、実施上の諸問題、今後改善すべき点などを産・官・学のそれぞれの立場からご討議いただき、今後の方向性を見定める。